

1. 東日本大震災から384日 再び現場へ



羽田航空基地に帰還したMA722「みずなぎ」

東日本大震災で被災した羽田航空基地所属機MA722「みずなぎ」が384日ぶりに羽田航空基地に帰還しました。震災当日、定期検査のため仙台空港に保管されていた「みずなぎ」は、押し寄せる津波により浸水・損傷。復旧への道のりは困難を極めました。仙台空港で唯一生き残った機体として、震災から約1年後の3月29日、再び美しい姿を取り戻しました。

2. 来島海峡の潮流信号所、電光表示方式に統一! ～中渡島潮流信号所103年の歴史に幕～



中渡島潮流信号所



遠隔制御装置により「信号停止」する様子

3月26日、来島海峡の全潮流信号が電光表示板の新システムに生まれ変わり、新たな表示方式による運用を開始しました。来島海峡の中央部に位置し、明治42年から業務を開始した中渡島潮流信号所は同日廃止され、我が国最後の腕木式潮流信号機も引退となりました。閉所式では、遠隔制御装置の「信号停止」ボタンが押され、新システムの移行に伴い中渡島、津島、大浜にある腕木式潮流信号機も順番に運用を停止しました。

○かいほニュースは海上保安庁ホームページでもご覧いただけます。
<http://www.kaiho.mlit.go.jp/info/kaihonews/index.html>

海上保安庁 〒100-8918 東京都千代田区霞が関2-1-3
03-3591-6361 (代表)
(編集・企画) 海上保安庁総務部政務課 政策評価広報室

～自己救命策 3つの基本～

海に落ちても沈まない
ライフジャケット
の着用

1



必ずしも大丈夫(防水パックの活用)
携帯電話の携行

2



海のもしものは……
118番の活用

3



3. 海上保安大学校入学式



新入生による宣誓



海上保安大学校長による訓辞

4月12日、海上保安大学校（広島県呉市）で本科第62期学生及び特修科第58期研修生の入学式が執り行われました。

入学生を代表して鱧部学生が「勉学に励み、心身をきたえ、かつ人格の陶冶に努め、立派な海上保安官になることを固く誓います。」と宣誓し、式修了後には在校生の案内による校内施設見学等が行なわれ、新しく始まる大学校生活への希望に胸を膨らませていました。

4. 海上保安学校入学式



新入生による宣誓



新入生による分列行進

4月13日、海上保安学校（京都府舞鶴市）において入学式が執り行われました。

入学生代表の船舶運航システム課程航海コース第41期の古賀学生は「海上保安学校学生としての自覚と誇りを持ち知識・技能の習得に励み、心身を鍛え国民の期待に応えられる海上保安官を目指して努力することを誓います。」と力強く宣誓しました。

○かいほニュースは海上保安庁ホームページでもご覧いただけます。
<http://www.kaiho.mlit.go.jp/info/kaihonews/index.html>

海上保安庁 〒100-8918 東京都千代田区霞が関2-1-3
03-3591-6361（代表）

（編集・企画）海上保安庁総務部政務課 政策評価広報室

海の「もしも」は118番

